

ADHDの私と似た特性があるように感じる息子
息子も受診するべきか
悩んでいたけれど

生活の中で工夫を重ねることで
「困りごと」が改善され
このままならその必要は
ないかも、思っていた

その日も
いつもどおりの
お迎えになるはずだった

ただいまかえりました

あ。
あ、お帰りなさい

!?どうしたんですか
その腕

ええええええ

ちよつと転んじやつて...

えええ
大丈夫なんですか??

すぐに治りますから!!!

おーい
お迎えだよー!

?

しゅん...

今日、どうかした?

保育園でお友達と
ケンカしちゃった?

.....ぼくのせいなの

夕飯の材料

←持ち帰りの手さげ×2

ぼくがせんせいに
けがさせちゃったの...っ

え?

息子が言うには…

はいっ

それじゃあ
お片づけするよー







先生は
笑ってくれたけど

それは赤ちゃんの頃
から息子のことを
一緒に育ててくれて
いたからだ



でも、そんな人ばかりじゃない

初めて出会う人が
息子の『良さ』を知る前に
『特性』が邪魔してしまう
こともあるかもしれない

そのとき
悲しい思いを
するのは

息子自身だ



発達障害は
生まれ持った『特性』であり

それは同時に、『個性』の一つ
とも言えることができる



全てのこどもに
そうであってほしいように
この子の持っている個性も
良い方向に伸ばし
最大限に引き出してあげたい

専門家の力を頼ることは
きっとその助けになる



おいで!!

トモ!!

準備をするんだ

この子がこの子らしく
生きていけるように

